

化学の「TO学習」の「R80」特集号です。

前号（第279号）で紹介した9月19日（火）の化学の「TO学習」に参加した6年次生（高3）と5年次生（高2）が書いた振り返りの「R80」を紹介します。

今回、6年次生にとっては、後輩の答案を「採点する」ことがたいへん刺激的だったようです。採点することによって、自分の答案を「メタ認知」することも出来たようです。「TO学習」の経験が、今後の受験勉強にも大きなプラスになったことでしょう。

また、5年次生にとっては、具体的に受験勉強をイメージすることも出来たようです。「TO学習」は「学力向上」「受験勉強」にもいい効果があることが再認識できました。以下に、8名の「R80」を掲載します。上の●が5年次生、下の◆が6年次生です。

- 今日のTO学習では、化学の解説を6年生にやってもらえて、分かりやすく、勉強になった。さらに、6年生だからこそ言える勉強への心構えも教えてもらえてためになった。
- 化学の導出課程を書く問題を解くのは初めてのことで、有効数字等を含めどこまで書くか分からなかった。しかし、具体例を交えながら説明してもらい、良く分かった。

- 自分で自分の解答の丸をつけると、どれも適当にあまり考えず丸をつけてしまう。しかし、目線の近い先輩に一对二で丸をつけてもらうことで、自分の甘さに気がついた。
- キーワードを入れることが最も大切だと分かってよかった。また、先輩と話をし、定期テストを重視することや授業に関してのことなどを聞いて、非常にためになった。

- ◆今回の採点の経験は私にとって初めてのことでありとても有意義だったと思う。なぜなら、私は普段の自分の採点をもっと甘く行っていたことを知れたからだ。
- ◆自分なりによく考えて丸をつけをしたつもりだったが、他の人の解説を聞くと、ここは減点だったと気づくことがあった。だから、自分のテストでももっとよく考えようと思った。

- ◆今まで、解答を書く時にあまり採点者の気持ちを考えていなかった。しかし、採点をしてみて初めて答案の分かりやすさ、ポイントをおさえるのがどれくらい大切か分かった。
- ◆後輩の採点を通して、何故吉村先生が自分の答案に丸をくれないかがわかった気がする。やはり、わかっているアピールこそが解答の本質であるということを再認識できた。



本校では、これからも「TO学習」を少しずつ展開します。次回は、10月12日（木）と10月13日（金）に「国語」で実施されます。4年次生（高1）が1年次生（中1）に漢文の「返り点」を教えるミッションです。今から見学するのが楽しみです(^_^)。